

公開情報資料

整理番号	2022. 11-4	
研究課題名	化学療法を施行した膵癌患者における癌関連血栓症の現状と血栓リスク因子の検討	
研究期間	2016年1月1日～2022年10月31日	
研究目的	膵癌は多種の癌の中でも血栓症を併発しやすい癌腫である。化学療法の進歩により治療成績は向上しているが、深部静脈血栓症(DVT)、肺血栓塞栓症(PE)は予後不良因子として報告されており、その評価も大切である。当院にて化学療法をおこなった膵癌患者の癌関連血栓症の併存割合および血栓リスク因子を評価することを研究の目的とした。	
研究方法	研究対象範囲	2016年1月1日～2022年10月31日の期間, 初診時に D-dimer を測定し化学療法を行った膵癌症例
	利用する情報等	年齢, 性別, 身長, 体重, BMI, 危険因子 (高血圧, 糖尿病, 喫煙歴など), 採血結果, 画像結果および臨床経過などカルテ上の臨床情報
	利用方法	カルテ情報から収集する。
	他機関への提供	予定はありません。
研究責任者	岡山赤十字病院 胆膵内科 秋元 悠	
問合せ先	岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。	